

古山豊編著『法雲山遠霑寺細草檀林』発行に際して

住本寺住職
興隆学林専門学校副舎監

渡邊 寿雄

この度、住本寺から「法雲山遠霑寺細草檀林」(第二刷)を発行する御縁を頂戴致しました。本書を御出版された古山豊先生は、私が住職を拝命している住本寺の檀信徒であります。そうしたことから、「興隆学林紀要」の編集部より古山先生の御紹介と、本書を住本寺より発行することになった経緯について記すことを求められましたので、僭越ながら述べさせて頂きたいと存じます。

古山先生は千葉県大網白里市細草で生まれ育ち、現在も細草にお住まいの方で、高校で社会科の教師として長年勤めてこられました。千葉県内の高校では、校長職も歴任されておられます。教職を退かれた現在は、大網白里市文化財審議会会長、大網白里市郷土史研究会会長等の役に就かれ、地域の歴史調査を通じて、地域振興に貢献されておられます。

特に、元禄十六(一七〇三)年起こった元禄地震・津波研究の第一任者として著名な先生は、「山武・長生郡における元禄地震調査」『第二集 元禄地震史料および分析』『第三集 元禄地震史料集』等を御出版されておられます。また地震・津波について、新聞の連載記事等で御報告されているほか、各地で御講演されるなど、精力的に活動しておられます。「興隆学林紀要」十四号に掲載された平田義浩上人の「元禄津波とその供養について」は、こうした古山先生の研究を多く参照されながら、供養という宗教的観点から元禄津波を論じておられました。

そうした古山先生に私が初めてお目にかかったのは、平成二十七年に先代である住本寺中興第三十九世柔和院日真（高橋真純）上人が遷化され、その法灯を私が継がせて頂いてから間もなくの頃、古山先生が住本寺を訪ねて来られた時のことでした。その時伺ったお話によれば、二十年程前に古山先生のもとを日真上人が尋ねた折に、持参した「細草檀林由来書」の写しを活字に起こして欲しいと依頼されたことでした。そして古山先生は、その機を端緒に檀林について興味を持たれ、特にご自身も生まれ育った細草にかつて存在した細草檀林を中心に、研究をまとめることになったそうです。そのため、その御著書に掲載する写真を撮影するために、住本寺を訪ねて来られたとのことでした。

その後の平成二十九年五月、古山先生が御自身で出版された御著書を住本寺に寄贈して下さった際に、是非とも本書を住本寺で増刷し、発行させて頂きたい旨を申し上げたところ、先生は御快諾下さいました。よって住本寺から「法雲山遠谿寺細草檀林」（第二刷）を発行させて頂く運びとなった次第です。

その本書を、私が副舎監として勤務している興隆学林専門学校で紹介させて頂いたところ、大平宏龍学林長先生より、大変貴重で重要な研究であるから、是非この機会に「興隆学林紀要」で古山先生に文章を書いて頂きたいとのお話しを頂戴しました。そしてその旨を古山先生にお伝えしたところ、これも直ちに御快諾下さいました。故に今回、「興隆学林紀要」で古山先生の玉稿を御発表頂くことが実現したわけです。

また以上のような経緯につきまして、大本山鷲山寺御貫首の佐藤日賢猥下にお話致しました所、日真上人の依頼については、その御師匠様である日賢猥下がよくご存知であったことを初めて伺いました。そのため、こうしたお話についても編集部に伝えたところ、その経緯についても是非御紹介頂きたいと大平学林長が希望されたため、このたび日賢猥下からも御寄稿頂けることとなりました。

古山先生は、細草檀林に関する史料収集や現地調査、文献研究、本書の作成など、独力で細草檀林の研究を進めてこられました。御多忙の中、その御成果の一端を今回『興隆学林紀要』に御寄せ頂けましたことは、細草檀林と関係の深い住本寺の住職としても心から感謝しております。私個人としましても、檀林研究について今後とも御指導を仰ぎたい所存です。また先代の日真上人の思いが結実されたことは、私にとりましても望外の喜びであります。今回、このような御縁を頂きましたことに、改めて心より感謝申し上げます。

さてこのたび『法雲山遠霽寺細草檀林』の発行に際しまして、各方面の方々にも是非本書を手にとって頂き、細草檀林についての御関心を深めて頂ければ幸いに存じます。本書は細草檀林の設立から廢檀に至るまでの経緯や檀林制度、関係史料などを、他の諸檀林も視野に入れながら追求されたものであり、宗門史においても大変貴重な御研究であると思われまします。

つきましては、本書をご希望される方は、住本寺まで御一報頂ければ、実費ご負担のもとに配布させて頂きたいと存じます。なお部数に限りがございますので、原則としてお一人につき一部とさせて頂きます。

末尾となりましたが、先代日真上人の自受御法楽を祈念しつつ、古山先生の御著書を通じて細草檀林に対する関心がさらに広まりますことを、切に願っております。

合掌

〔追記〕連絡先・連絡方法は以下の通りです。

〒二九九―三二二一

千葉県大網白里市細草一九五九

住本寺 宛

電話番号 ○四七五―七七―四七〇二

※本書をご希望の方は、御自身の宛先、お名前、電話番号を記入したレターバック（青）を一部御用意頂き、それをもう一つ別のレターバック（青）に入れた上で、住本寺までお送り下さい。本書を同封して送らせて頂きます。